

<グループワーク>

在宅療養における医療等の提供体制に関する意見交換

【グループワークの進め方】

①進行役・書記・発表役を決める

②グループワーク(40分)

進行役の方が中心となり、グループ内で議論してください。進行役の方は、参加者全員が発言できるように進めてください。

書記の方は、グループワーク終了後の発表に向けて、出された意見を机上に用意した紙に記録してください。

③発表

全グループから、意見交換した内容を発表していただきます。(15分)

※1グループ発表時間:3~5分 (発表時間は、圏域ごとのグループ編成数により異なります)

【意見交換の流れ】

○地域における在宅療養に関する資源の状況

(1) 区市町村ごとの状況

- ① 地域における在宅療養に関する資源の状況について、訪問診療の患者流出入データ(資料5)や在宅療養に関するデータ(資料6)を参考にしながら、実際の在宅療養の現場で日頃感じている資源の充足状況(現場感覚等)について意見交換を行ってください。
- ② 地域における在宅療養に関する資源の状況で話し合った内容を踏まえ、将来、増加する訪問診療の需要に対応していくために、地域で取組むべきことについて意見交換を行ってください。

(2) 圏域全体での状況

- ① 在宅療養に関する資源の状況について、圏域全体で見た際の特徴や課題等(圏域内でも資源のバラつきがある、〇〇市単独では足りていないと感じるが、圏域全体でみれば足りている等)があれば、意見交換を行ってください。

« (1) ②の意見交換の例»

- ・ 訪問診療を行う医療機関を増やすために、どのような取組が考えられるか(かかりつけ医が在宅医療をはじめやすい環境づくり、訪問診療を行う診療所をバックアップする体制を整える 等)
- ・ 現在の医療資源を効果的に活用し、より多くの患者の訪問診療を行うには、どのような取組が必要か(診療所ごとの機能分担、訪問看護ステーションとの連携強化、在宅医療を専門に行う医療機関との連携、ICTを活用した情報共有 等)

【発表について】

○全グループから、意見交換した内容を発表していただきます。